

令和7年度

市政の運営方針

令和7年2月4日

「市政の運営方針」といたしまして、私が市政運営に臨む上での基本的な考え方を述べさせていただきます。

令和7年度につきましては、「市民の皆様方にとっての東金市」のまちづくりを、皆様方と共に進めていくために策定いたしました、「東金市第4次総合計画」の計画期間の中間点となる5年目を迎え、また、「前期基本計画」の最終年度を迎えることとなります。

私は、この年を「前期基本計画」の「総括」の年と位置付け、「躍進」を強く意識した中で、事業の企画設計及び予算化を積極的に進めてまいる所存であり、これまで取り組んできた施策の進展と効果を、皆様方の目に見えるかたちとするため、まちづくりにおける「投資」と「市民還元」、そこから「まちの発展」、この繰り返しによる「好循環の創出」を図ることに注力してまいりたいと考えております。

それではこれより、総合計画における、「とうがね10年の経営重点戦略」に基づく「5つの重点戦略事業」につつまし

て、具体的な取組を申し上げます。

1 点目といたしまして、「子育て支援の充実」に係る取組についてでございます。

地域の子育て環境や、多様化する保育ニーズへの対応といたしまして、市立幼保施設の認定こども園への転換及び民設民営施設への移行など、引き続き幼保再編の取組を進めております。

令和 6 年 4 月には、幼保連携型認定こども園として市立で 3 番目となる「正気こども園」、また民間への移行施設である「東金国際こども園」がそれぞれ開園となったところです。今後も、幼児教育・保育の環境整備の取組を進め、「子育て支援の充実」に取り組んでまいります。

また、安全・安心な幼児教育・保育の提供に向け、災害発生時や異常気象に対応すべく、非常食などの必要な物資を配備してまいります。

まちの魅力づくりに向けた包括的な子育て施策の展開といたしまして、令和 6 年度から、高校生相当年齢の方の通院及び調剤まで対象を拡大した子ども医療費扶助事業の継続や、

学童クラブの新設及び拡張の取組をはじめ、市独自の支援策である子育てスタート支援事業、国庫補助事業の活用による結婚新生活支援事業の推進を図ってまいります。

2点目といたしまして、「学校教育の充実と人材育成の推進」に係る取組についてでございます。

持続可能なまちづくりには、これを担っていただく人材の確保は欠くことのできないものであり、その育成に努めることの必要性和重要性を強く感じております。

そのため、教育環境の充実に向けた取組につきまして、時代の流れや社会情勢の移り変わりを的確に捉えた中で、柔軟性を持ち、継続的に進めていく必要があるものと改めて認識するところです。

その認識をもって、引き続き、未来を担う子どもたちの教育支援の体制を整備、拡充を進めるため、ICT教育も含めた学習支援をはじめ、児童生徒の学校生活をサポートする人材の配置の充実・強化などに努めてまいります。

また、ICTを活用した学習活動の日常化と更なる充実に向けましては、令和6年度に市内小中学校へ導入いたしまし

た電子黒板につきまして、この活用による効果的な指導方法の習得を目指し、研修機会の創出などに努めてまいります。

さらに、児童生徒の安全・安心を確保するため、教育施設の適切な維持管理に努め、快適な学習環境を提供してまいります。

また、給食センターの整備を計画的に進め、デザインや機能面に加え、効率性を高めるための詳細な施設設計を行ってまいります。

3点目といたしまして、地域経済の活性化を図るための「新たな企業誘致の推進」に係る取組についてでございます。

総合計画に掲げております、「稼ぎ・にぎわうまちを創る」の実現に向けては、積極的な産業振興策を講じ、市内における産業活動の発展と雇用の創出を図り、まちの持続的な発展につなげていく必要があるものと捉えております。

その一環として、企業誘致の積極的な推進を図っており、市内へ新たに立地する企業、また設備投資を行う市内企業への支援を目的とした、企業立地奨励制度の適用件数につきまして、着実に積み上げてきているところです。

また、この取組に併せ、計画に基づく、新たな産業用地整備事業につきまして、実際に各種協議から用地買収、造成工事、企業用地の分譲まで行う民間事業者の募集と選定、アクセス道路の予備設計などを行ってまいります。

さらには、これらの直接的な企業誘致の推進に係る取組をより効果的なものとしていくため、交通の要衝といった、本市の強みの更なる強化に向け、広域的な幹線道路ネットワークへの接続環境や市外へのアクセス道路の整備、また市内道路ネットワークの整備に係る必要な投資を行ってまいります。

4 点目といたしまして、「農業経営の強化・安定による農林業の発展」に係る取組についてでございます。

農地・農村や森林につきましては、食料や生活資材の供給、自然環境の保全、また水源の涵養など、日常生活において欠かすことのできない、重要かつ多面的な役割を担っており、将来にわたって維持していかなければなりません。そのため、農地・農村を支える地域主体の活動や農業用施設の整備などに対する支援、また、生産者の経営の安定化等を図るため、農用地の利用集積や経営体の育成に係る取組の推進を継続し、

生産基盤、経営基盤の整備に取り組みます。

加えて、本市の産業交流拠点施設である、「道の駅みのりの郷東金」の更なる発展に向けた機能強化とその有効活用を図るため、施設の再整備基本計画に基づく基本設計を取りまとめるとともに、オリーブの産地化に向けた取組の一環といたしまして、加工場へオリーブの搾油機を導入してまいります。

5点目といたしまして、「公共交通ネットワークの再編」に係る取組についてでございます。

市民の皆様方の日常生活におきまして、移動手段の確保は欠くことのできないものです。人口減少、少子・高齢化が目に見えて進む中であっては、この重要性はより増していくものと認識するところであり、地域公共交通が担う役割は更に大きくなっていくものと捉えております。

「第3次東金市地域公共交通計画」に基づく具体的な取組につきまして、引き続き関係事業者や関係機関と共に進め、この維持に努めてまいります。

また、公共交通の維持発展と持続可能なまちづくりの取組の一環として、ＪＲ東日本千葉支社と進めております、東金

駅東口新改札の設置につきましては、令和8年4月の供用開始を予定しており、これと併せまして、待合所やトイレなどの整備を行うとともに、ロータリーにおける安全対策を講じてまいります。

以上が、経営重点戦略に基づく具体的な取組方針となりますが、道路をはじめとするインフラや、公共施設などの都市基盤の整備は、まちづくりのベースとなるものであり、「ヒト」や「モノ」の流れ、動きの展開を生み出し、まちの活性化が期待できます。そのため、都市基盤整備に対する投資の重要性と必要性を強く認識する中で、これを積極的に行ってまいります。

また、東金駅東口新改札の設置につきましても、人の流れをはじめ、様々な変化をもたらすことが想定され、これを契機とした、まちへの大きな魅力づけ、また、にぎわいの創出につなげていく必要があります。現在進めております、駅周辺の今後のまちづくりの取組をその核と位置付け、民間事業者等との連携を視野に入れた、公共施設等の最適化を軸とし

た中で、公共交通施策の展開も含めて推進してまいりたいと考えております。まずは、その具体的な事業化に向け、人口減少、少子・高齢化の進展の状況と今後の見通し、公共施設等に係る立地や利用状況、施設の状態などといった現状と課題の整理、またそれらへの対応策に係る調査等を実施し、ロードマップの作成に取り組んでまいります。

次に、現総合計画の体系では、まちづくりの基礎・土台として、地域コミュニティによる活動を位置付けております。計画を推進していく上で、地域力の維持と強化は欠くことのできないものとなります。このことを、改めて、強く認識するところであり、地域のつながり、それによる地域の活動の維持・活性化に向けた取組を継続するとともに、更なる推進に向けた、今後の取組のあり方につきまして検討してまいります。

最後に、「東千葉メディカルセンター」につきましては、救命救急センターを有する地域の中核病院として、平成26年

4月の開院から10年が経過し、まさに成熟期を迎えており、この地域の日常生活になくてはならない存在となっているものと認識するところです。

地域医療の提供に係るメディカルセンターが担う役割・機能は、非常に大きく、重要なものであり、これらを将来にわたり維持していく必要があります。そのため、センターを運営する法人の設立団体として、必要な負担を行うとともに、地域で支える仕組みづくりをはじめ、経営基盤の安定化を図る取組を、法人の認可権者である千葉県、法人、また法人の設立団体である九十九里町と一体となって進め、今後も、健全経営の下での、安全・安心な地域医療の提供に努めてまいります。

今回御提案いたします、令和7年度の当初予算案につきましては、依然として収束の兆しの見えない物価高騰の影響などにより、各種の固定的経費はもとより、資材価格が高水準で推移していることなどに起因し工事費等もかさむ中、限られた資源の効率的で効果的な配分に向け、更なる業務の見直

しに努めたところですが、引き続き厳しい編成となりました。

しかしながら、持続可能なまちづくりに向けては、まちへの投資を不断のものとして行っていく必要があることから、令和6年度と同様、財政調整基金から必要額を繰り入れ、関係施策を推進してまいります。

引き続き、市民の皆様方が求める行政サービスや、期待するまちづくりを的確に捉えながら、総合計画に掲げた本市の将来像の実現に向けて鋭意取り組んでまいります。

